

■ ニーズ量【定期的教育・保育事業】

※ 算出基準：学年年齢（平成26年4月1日時点年齢）による

■ 0歳家庭のみ

＜3号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

（問11-1：「6.区立保育園」～「11.事業所内保育所」／問12：「6.区立保育園」～「14.家庭的保育者が子どもの家庭で保育する事業」）

■ 預かり状況（平成25年4月1日時点）

	平成25年度
①人口	1,686
②実績（預かり数）	403
③構成比（顕在ニーズ量） （②÷①）	23.9%

①平成25年4月1日現在の人口統計より

②定期的教育・保育事業の年齢別預かり状況（平成26年2月14日部会【資料第3号】より）

■ ニーズ調査の現在利用状況

④回収数	159	⑦ニーズ調査の超過率 （⑥÷③） ↓【補正值】
⑤当該事業の該当者数	58	
⑥構成比 （⑤÷④）	36.5%	

■ 顕在ニーズ量の推計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑧推計児童数	1,730	1,720	1,714	1,705	1,689
⑨推計顕在ニーズ量 （⑧×③）	414	411	410	408	404

⑧人口推計（平成26年2月27日呈示分）より

■ ニーズ量（ワークシートより）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑩ニーズ量総計 （ワークシートの指示通り）	1,093	1,086	1,078	1,068	1,054
⑪潜在ニーズ量のみ	541	537	533	528	522
⑫潜在ニーズ量の絞込み（切実）	234	232	232	230	228

⑩当該事業の現在非利用者かつ利用希望あり

⑫絞込み回答＝問11-5：利用していない理由「4.利用したいが、空きがない」、「5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」、「6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」を回答

かつ「8.子どもがまだ小さいため⇒「2歳以上」になったら」を除く

■ ニーズ量の補正 ～ パターンⅠ ～

※ 調査結果における現在利用率と実態（実際の事業量）の乖離（超過率）より、ニーズ量を補正。潜在ニーズも同様の考えより同様に補正。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑬ニーズ量総計 （⑩＋補正值⑦）	716	712	706	700	691
⑭潜在ニーズ量のみ （⑪＋補正值⑦）	354	352	349	346	342
⑮潜在ニーズ量の絞込み（切実） （⑫＋補正值⑦）	153	152	152	151	149

■ ニーズ量

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑨推計顕在ニーズ量 ＋⑮潜在ニーズ量（切実）	567	563	562	559	553

■ ニーズ量【定期的教育・保育事業】

※ 算出基準：学年年齢（平成26年4月1日時点年齢）による

■ 1・2歳家庭のみ

<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

（問11-1：「6.区立保育園」～「11.事業所内保育所」／問12：「6.区立保育園」～「14.家庭的保育者が子どもの家庭で保育する事業」）

■ 預かり状況（平成25年4月1日時点）

	平成25年度
①人口	3,307
②実績（預かり数）	1,394
③構成比（顕在ニーズ量） （②÷①）	42.2%

■ ニーズ調査の現在利用状況

④回収数	287	⑦ニーズ調査の超過率 （⑥÷③） ↓【補正值】
⑤当該事業の該当者数	132	
⑥構成比 （⑤÷④）	46.0%	

①平成25年4月1日現在の人口統計より

②定期的教育・保育事業の年齢別預かり状況（平成26年2月14日部会【資料第3号】より）

■ 顕在ニーズ量の推計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑧推計児童数	3,587	3,624	3,543	3,526	3,510
⑨推計顕在ニーズ量 （⑧×③）	1,512	1,528	1,493	1,486	1,480

⑧人口推計（平成26年2月27日呈示分）より

■ ニーズ量（ワークシートより）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑩ニーズ量総計 （ワークシートの指示通り）	1,980	2,003	1,955	1,942	1,925
⑪潜在ニーズ量のみ	473	479	467	464	460
⑫潜在ニーズ量の絞込み（切実）	304	307	300	298	297

⑩当該事業の現在非利用者かつ利用希望あり

⑫絞込み回答＝問11-5：利用していない理由「4.利用したいが、空きがない」、「5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」、「6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」

■ ニーズ量の補正 ～ パターンⅠ ～

※ 調査結果における現在利用率と実態（実際の事業量）の乖離（超過率）より、ニーズ量を補正。潜在ニーズも同様の考えより同様に補正。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑬ニーズ量総計 （⑩＋補正值⑦）	1,815	1,836	1,792	1,780	1,764
⑭潜在ニーズ量のみ （⑪＋補正值⑦）	434	439	428	425	422
⑮潜在ニーズ量の絞込み（切実） （⑫＋補正值⑦）	279	281	275	273	272

■ ニーズ量

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑨推計顕在ニーズ量 ＋⑮潜在ニーズ量（切実）	1,791	1,809	1,768	1,759	1,752

■ ニーズ量【定期的教育・保育事業】

※ 算出基準：学年年齢（平成26年4月1日時点年齢）による

■ 3～5歳のみ

① <1号認定>（認定こども園及び幼稚園）

（問11-1：「1.区立幼稚園」～「3.私立幼稚園」／問12：「1.区立幼稚園」～「3.私立幼稚園」、「9.認定こども園」）

■ 預かり状況（平成25年4月1日時点）

※1号認定+2号認定（幼稚園）計	平成25年度
①人口	4,797
②実績（預かり数）	2,880
③構成比（顕在ニーズ量） （②÷①）	60.0%

■ ニーズ調査の現在利用状況

④回収数	401	⑦ニーズ調査の超過率 （⑥÷③） ↓【補正值】
⑤当該事業の該当者数	246	
⑥構成比 （⑤÷④）	61.3%	

①平成25年4月1日現在の人口統計より

②平成25年5月1日現在の幼稚園在園児数（区民のみ。区外私立幼稚園利用者も含む）

■ 顕在ニーズ量の推計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑧推計児童数	5,134	5,259	5,488	5,590	5,618
⑨推計顕在ニーズ量 （⑧×③）	3,082	3,157	3,295	3,356	3,373
⑨' 推計顕在ニーズ量 （1号+2号（幼稚園）該当者の潜在家庭類型 【C】【D】【E】【F】構成比により按分：⑨×77.4%）	2,385	2,444	2,550	2,598	2,611

⑧人口推計（平成26年2月27日示分）より

■ ニーズ量（ワークシートより）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑩ニーズ量総計 （ワークシートの指示通り）	2,298	2,387	2,487	2,535	2,556
⑪潜在ニーズ量のみ	191	199	207	211	213
⑫潜在ニーズ量の絞込み（切実）	56	57	59	60	61

⑩当該事業の現在非利用者かつ利用希望あり

⑫絞込み回答＝問11-5：利用していない理由「4.利用したいが、空きがない」、「5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」、「6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」

■ ニーズ量の補正 ～ パターンⅠ ～

※ 調査結果における現在利用率と実態（実際の事業量）の乖離（超過率）より、ニーズ量を補正。潜在ニーズも同様の考えより同様に補正。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑬ニーズ量総計 （⑩+補正值⑦）	2,249	2,336	2,434	2,481	2,501
⑭潜在ニーズ量のみ （⑪+補正值⑦）	187	195	203	206	208
⑮潜在ニーズ量の絞込み（切実） （⑫+補正值⑦）	55	56	58	59	60

■ ニーズ量

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑨' 推計顕在ニーズ量（按分後） +⑮潜在ニーズ量（切実）	2,440	2,500	2,608	2,657	2,671

■ ニーズ量【定期的教育・保育事業】

※ 算出基準：学年年齢（平成26年4月1日時点年齢）による

■ 3～5歳のみ

② <2号認定>（幼稚園）

（問11-1：「1.区立幼稚園」～「3.私立幼稚園」／問12：「1.区立幼稚園」～「3.私立幼稚園」）

■ 預かり状況（平成25年4月1日時点）

※1号認定+2号認定（幼稚園）計	平成25年度
①人口	4,797
②実績（預かり数）	2,880
③構成比（顕在ニーズ量） （②÷①）	60.0%

①平成25年4月1日現在の人口統計より

②平成25年5月1日現在の幼稚園在園児数（区民のみ。区外私立幼稚園利用者も含む）

■ ニーズ調査の現在利用状況

④回収数	401	⑦ニーズ調査の超過率 （⑥÷③） ↓【補正值】
⑤当該事業の該当者数	246	
⑥構成比 （⑤÷④）	61.3%	

■ 顕在ニーズ量の推計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑧推計児童数	5,134	5,259	5,488	5,590	5,618
⑨推計顕在ニーズ量 （⑧×③）	3,082	3,157	3,295	3,356	3,373
⑨' 推計顕在ニーズ量 （1号+2号（幼稚園）該当者の潜在家庭類型 【A】【B】【C】【E】構成比により按分：⑨×22.6%）	697	713	745	758	762

⑧人口推計（平成26年2月27日示分）より

■ ニーズ量（ワークシートより）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑩ニーズ量総計 （ワークシートの指示通り）	602	625	651	664	669
⑪潜在ニーズ量のみ	（潜在なし＝希望でなく現在利用基準としているため（手引き：P33））				
⑫潜在ニーズ量の絞込み（切実）					

⑩当該事業の現在非利用者かつ利用希望あり

⑫絞込み回答＝問11-5：利用していない理由「4.利用したいが、空きがない」、「5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」、「6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」

■ ニーズ量の補正 ～ パターンⅠ ～

※ 調査結果における現在利用率と実態（実際の事業量）の乖離（超過率）より、ニーズ量を補正。潜在ニーズも同様の考えより同様に補正。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑬ニーズ量総計 （⑩+補正值⑦）	589	612	637	650	655
⑭潜在ニーズ量のみ （⑪+補正值⑦）	（潜在なし＝希望でなく現在利用基準としているため（手引き：P33））				
⑮潜在ニーズ量の絞込み（切実） （⑫+補正值⑦）					

■ ニーズ量

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑨' 推計顕在ニーズ量（按分後） +⑮潜在ニーズ量（切実）	697	713	745	758	762

■ ニーズ量【定期的教育・保育事業】

※ 算出基準：学年年齢（平成26年4月1日時点年齢）による

■ 3～5歳のみ

③ <2号認定>（認定こども園及び保育所）

（問11-1：「6.区立保育園」～「11.事業所内保育所」／問12：「6.区立保育園」～「14.家庭的保育者が子どもの家庭で保育する事業」）

■ 預かり状況（平成25年4月1日時点）

	平成25年度
①人口	4,797
②実績（預かり数）	1,622
③構成比（顕在ニーズ量） （②÷①）	33.8%

■ ニーズ調査の現在利用状況

④回収数	401	⑦ニーズ調査の超過率 （⑥÷③） ↓【補正值】
⑤当該事業の該当者数	143	
⑥構成比 （⑤÷④）	35.7%	

①平成25年4月1日現在の人口統計より

②定期的教育・保育事業の年齢別預かり状況（平成26年2月14日部会【資料第3号】より）

■ 顕在ニーズ量の推計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑧推計児童数	5,134	5,259	5,488	5,590	5,618
⑨推計顕在ニーズ量 （⑧×③）	1,736	1,778	1,856	1,890	1,900

⑧人口推計（平成26年2月27日提示分）より

■ ニーズ量（ワークシートより）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑩ニーズ量総計 （ワークシートの指示通り）	1,613	1,676	1,746	1,780	1,975
⑪潜在ニーズ量のみ	97	101	105	107	108
⑫潜在ニーズ量の絞込み（切実）	42	43	45	46	46

⑩当該事業の現在非利用者かつ利用希望あり

⑫絞込み回答＝問11-5：利用していない理由「4.利用したいが、空きがない」、「5.利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」、「6.利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「7.利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」

■ ニーズ量の補正 ～ パターンⅠ ～

※ 調査結果における現在利用率と実態（実際の事業量）の乖離（超過率）より、ニーズ量を補正。潜在ニーズも同様の考えより同様に補正。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑬ニーズ量総計 （⑩+補正值⑦）	1,529	1,589	1,656	1,688	1,873
⑭潜在ニーズ量のみ （⑪+補正值⑦）	92	96	100	101	102
⑮潜在ニーズ量の絞込み（切実） （⑫+補正值⑦）	40	41	43	44	44

■ ニーズ量

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
⑨推計顕在ニーズ量 +⑮潜在ニーズ量（切実）	1,776	1,819	1,899	1,934	1,944